

リスクコミュニケーションに関する取組について

リスク分析の考え方に基づき、リスク管理、リスク評価を実施する関係行政機関が連携して、リスクコミュニケーションを推進している。食品安全委員会、厚生労働省、農林水産省、環境省では、それぞれの担当官による4府省リスクコミュニケーション担当者会議を定期的を開催するなど調整を図りつつ、従来型の一方的な情報提供にならないよう、分かりやすい情報の提供や御意見募集など双方向のコミュニケーションの実現に努めている。

第23回リスクコミュニケーション専門調査会（平成18年3月20日）での報告以降、食品安全委員会、厚生労働省、農林水産省が連携して実施した意見交換会は、以下のとおりである。

また、各府省が行ったリスクコミュニケーションに関する取組を別紙1，2，3に示す。

1. 三府省連携による意見交換会（平成18年3月17日～平成18年4月24日）

No	開催日	会議名	開催地
		講演テーマ・講演者	参加人数
1	3月27日	食品に関するリスクコミュニケーション（輸入食品の安全確保及び残留農薬等のポジティブリスト制度の導入についての意見交換会）	新潟県
		リスクコミュニケーションについて 厚生労働省食品安全部企画情報課長補佐 広瀬 誠 輸入食品の安全確保について 厚生労働省大臣官房参事官 藤井 充 残留農薬等のポジティブリスト制度の導入について 厚生労働省食品安全部企画情報課長補佐 広瀬 誠	289名
		食品に関するリスクコミュニケーションー重金属と食品の安全性ー	東京都
2	3月30日	重金属ー食品の安全性にどのように影響するのか？ スウェーデン・ウメオ大学 教授 グンナー・ノルドバーク 食品毒性学から見たメタロチオネインの作用 スウェーデン・カロリンスカ研究所 准教授 モニカ・ノルドバーク	123名

3	4月11日	食品に関するリスクコミュニケーション（米国産牛肉輸入問題に関する意見交換会）	沖縄県
		米国産牛肉輸入問題について 農林水産省消費・安全局動物衛生課国際衛生対策室長 川島 俊郎	60名
4	4月12日	食品に関するリスクコミュニケーション（米国産牛肉輸入問題に関する意見交換会）	北海道
		米国産牛肉輸入問題について 農林水産省消費・安全局動物衛生課長 釘田 博文	182名
5	4月13日	食品に関するリスクコミュニケーション（米国産牛肉輸入問題に関する意見交換会）	宮城県
		米国産牛肉輸入問題について 厚生労働省医薬食品局食品安全部監視安全課長 桑崎 俊昭	109名
6	4月14日	食品に関するリスクコミュニケーション（米国産牛肉輸入問題に関する意見交換会）	大阪府
		米国産牛肉輸入問題について 農林水産省消費・安全局動物衛生課長 釘田 博文	174名
7	4月17日	食品に関するリスクコミュニケーション（米国産牛肉輸入問題に関する意見交換会）	新潟県
		米国産牛肉輸入問題について 農林水産省消費・安全局動物衛生課国際衛生対策室長 川島 俊郎	100名
8	4月18日	食品に関するリスクコミュニケーション（米国産牛肉輸入問題に関する意見交換会）	愛知県
		米国産牛肉輸入問題について 厚生労働省医薬食品局食品安全部監視安全課 BSE対策専門官 蟹江 誠	130名
9	4月19日	食品に関するリスクコミュニケーション（米国産牛肉輸入問題に関する意見交換会）	広島県
		米国産牛肉輸入問題について 農林水産省消費・安全局動物衛生課国際衛生対策室長 川島 俊郎	125名
10	4月20日	食品に関するリスクコミュニケーション（米国産牛肉輸入問題に関する意見交換会）	福岡県
		米国産牛肉輸入問題について 厚生労働省医薬食品局食品安全部監視安全課長 桑崎 俊昭	158名

11	4 月 21 日	食品に関するリスクコミュニケーション（米国産牛肉輸入問題に関する意見交換会）	東京都
		米国産牛肉輸入問題について 厚生労働省医薬食品局食品安全部監視安全課 輸入食品安全対策室長 道野 英司	310 名
12	4 月 24 日	食品に関するリスクコミュニケーション（米国産牛肉輸入問題に関する意見交換会）	香川県
		米国産牛肉輸入問題について 農林水産省消費・安全局動物衛生課国際衛生対策室長 川島 俊郎	119 名

2. 今後の予定

開催日	会議名	開催地
4 月 27 日	食品に関するリスクコミュニケーション（残留農薬等のポジティブリスト制度の導入に際しての生産から消費までの食品の安全確保の取組みに関する意見交換会（東京都））	東京都

食品安全委員会におけるリスクコミュニケーションに関する取組について

最近（平成18年3月17日～平成18年4月24日）の実施状況

1. 意見交換会等の開催状況

○3府省連携による意見交換会

平成18年3月30日に東京で、「食品に関するリスクコミュニケーションー重金属と食品の安全性ー」を開催した。スウェーデン・ウメオ大学教授グンナー・ノルドバーグ氏及びスウェーデン・カロリンスカ研究所准教授モニカ・ノルドバーグ氏を招聘し、それぞれ「重金属ー食品の安全性にどのように影響するのか?」、「食品毒性学から見たメタロチオネインの作用」のテーマで、講演をいただいた後、会場参加者との意見交換を行った。

○地方自治体との共催による意見交換会

平成18年4月13日

「食品の安全に関するリスクコミュニケーション（食の安全・安心確保のための体制と取組みについての意見交換会）」（主催：食品安全委員会、沖縄県）

一色事務局次長より「食品の安全性確保のための体制と取組みについて」のテーマで講演を行った後、パネルディスカッション及び会場参加者との意見交換を行った。

○その他

平成18年4月20日

食品安全委員会事務局内において、食品企業の食品安全技術責任者と食品安全委員会委員との懇談会を実施し、食品の安全研究に関する現状と課題等について自由に意見交換を行った。

2. 意見・情報の募集実施状況

募集期間	案件名	応募状況 (通数)
平成18年4月20日 ～5月19日 (30日間)	「チョウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシBt10」の安全性評価についての御意見・情報の募集	実施中
平成18年4月13日 ～5月12日 (30日間)	動物用医薬品に係る食品健康影響評価に関する審議結果(案)についての御意見・情報の募集	実施中

平成18年4月6日 ～5月8日 (約4週間)	「ガイオ タガトース」に係る食品健康影響評価に関する 審議結果(案)についての御意見・情報の募集	実施中
平成18年4月6日 ～5月8日 (約4週間)	「L-グルタミン」の安全性評価についての御意見・情報 の募集	実施中

3. 情報の発信

時 期	媒 体	内 容
H18.3	季刊誌	『食品安全』第8号発刊（同時にホームページ掲載）
H18.3	ホームページ	トピックス：大豆及び大豆イソフラボンに関する Q&A を更新
H18.3～4		トピックス：BSE 及び vCJD のページ随時更新
H18.3～4		トピックス：鳥インフルエンザのページ（Q&A 含む）随時更新

4. その他の取組

(1) 「食の安全ダイヤル」を通じた質問・報告の把握

○受付件数（平成18年3月～平成18年4月24日）

内 訳	3月	4月24日現在
① 食品安全委員会関係	10件	9件
② 食品の安全性関係	34件	19件
③ 食品一般関係	14件	15件
④ その他	2件	0件
合 計	60件	43件
（BSE関係）	（7件）	（5件）
《大豆イソフラボン関係》	《21件》	《10件》

○主な意見

- ・ アガリクスを含む製品について、厚生労働省から食品健康影響評価を依頼されましたが、今後どのように審議を進めていくのですか。（3月）

- ・ 大豆イソフラボンを含む特定保健用食品（３品目）の食品健康影響評価について、なぜ大豆イソフラボンアグリコンに換算して評価しているのですか。大豆イソフラボンアグリコンへの換算方法についても教えてください。（３月）

（２）「食品安全モニター」を通じた意見等の把握

２月中には米国産牛肉問題を中心に６４件、３月中には４３件、４月（２４日現在）には１１件の報告があった。

なお、平成１８年度食品安全モニターについては、４月３日、４７０名に依頼をしたところである。

平成18年度食品安全委員会が開催する意見交換会等の実施方針（案）

平成18年4月
内閣府食品安全委員会事務局

平成18年度に食品安全委員会が開催する意見交換会等は、平成18年度食品安全委員会運営計画（平成18年3月30日食品安全委員会決定）に基づき、次のとおり実施する。

1. 開催方針

- 1) 主 催：主に食品安全委員会、厚生労働省、農林水産省の三府省
（地方公共団体等との共催による意見交換会等も実施）
- 2) 主 題：①リスク分析手法の考え方
②国民の関心が高い又は関係者相互間の考え方が著しく乖離しているため、消費者等への説明が必要なもの
③海外及び国内の食品以外の他分野のリスクコミュニケーション
④食品健康影響評価のうち、特に国民の関心が高いもの 等
- 3) 頻 度：年度内に10～20回
- 4) 規 模：数十名～数百名程度
- 5) 地 域：全国各地の中核都市を中心として（過去の実績を考慮）
- 6) 参加者：消費者、生産者、事業者、有識者、メディア等
- 7) その他：厚生労働省、農林水産省等が開催する意見交換会等と調整

2. 開催計画

開催時期	開催場所	案件名
第一四半期 （4～6月）	関東（東京） 東北 北陸	ポジティブリスト制（連携） 食育
第二四半期 （7～9月）	関東（東京） 東海・中部 京阪神	健康食品
第三四半期 （10月～12月）	関東（東京） 山陰 中国	
第四四半期 （1月～3月）	関東（東京） 九州 京阪神	

※上記意見交換会等のうち、年間に数回程度海外から講演者を招き開催する予定。

※上記の開催計画は現時点のものであり、今後変更がありうる。

※委員会が行う食品健康影響評価のうち、特に国民の関心が高い案件については随時。

平成18年度リスクコミュニケーション推進事業の実施計画（案）

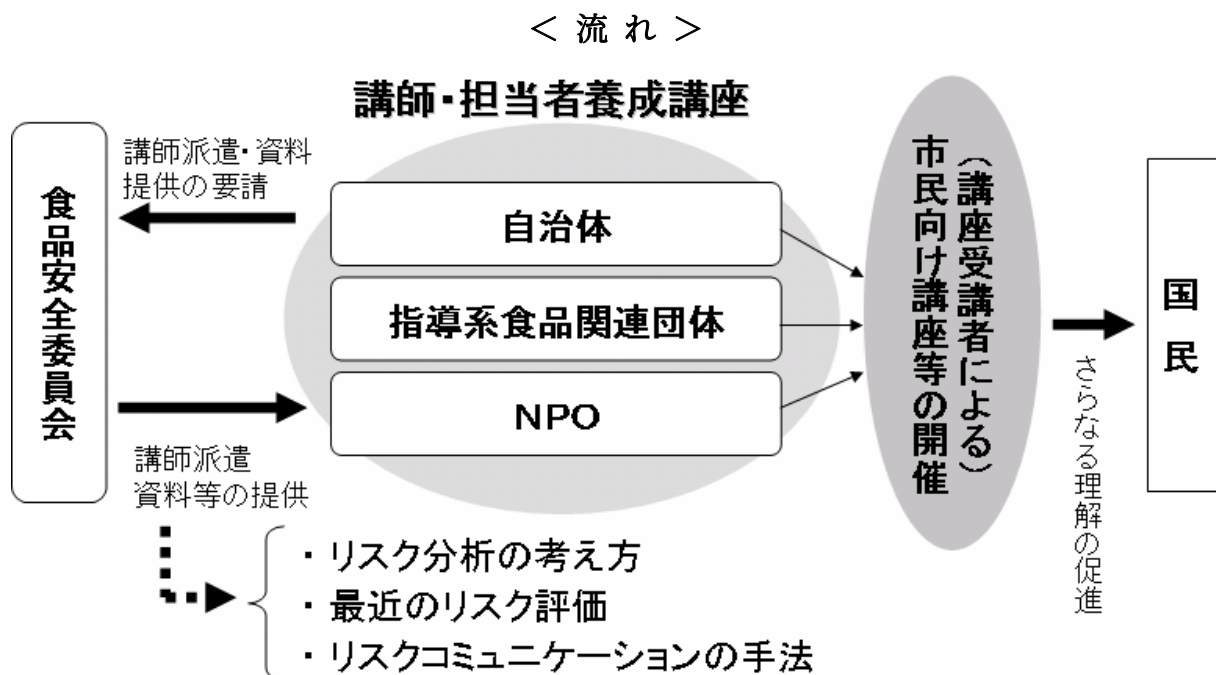
平成18年4月

内閣府食品安全委員会事務局

平成18年度に食品安全委員会が実施するリスクコミュニケーション推進事業については、平成18年度食品安全委員会運営計画（平成18年3月30日食品安全委員会決定）に基づき、次のとおり実施する。

1. 開催方針

- 1) 主 催：主に食品安全委員会、自治体、NPO等の関係団体
- 2) 主 題：以下の内容について、食品安全委員会から講師を派遣し講義及びロールプレイング等を行い、指導者育成や教材の提供を行う。
 - ①リスク分析手法の考え方
 - ②国民の関心が高い又は関係者相互間の考え方が著しく乖離しているため、消費者等への説明が必要なもの
 - ③海外及び国内の食品以外の他分野のリスクコミュニケーション
 - ④食品健康影響評価のうち、特に国民の関心が高いもの 等
- 3) 頻 度：要請される状況による（年度内に10～20回程度）
- 4) 規 模：数十名程度
- 5) 地 域：各地
- 6) 参加者：関係団体、NPO会員等
- 7) その他：関係機関と調整



厚生労働省におけるリスクコミュニケーションに関する取組について

最近(平成18年3月17日～平成18年4月24日)の実施状況

1. 意見交換会等の開催状況

- ・食品安全委員会、農林水産省、新潟県、新潟市とともに、輸入食品の安全確保及び残留農薬等のポジティブリスト制度の導入についての意見交換会(新潟県新潟市)を開催(3月27日)。
- ・農林水産省とともに、米国産牛肉輸入問題に関する意見交換会を全国10カ所で開催(4月11日～4月24日)。

2. 意見募集の実施状況

対象期間中に募集を開始した案件はありませんでした。

3. 情報の発信(平成18年3月17日～平成18年4月24日)

(1) 食品の安全確保に向けた取組のホームページ「食品安全情報」

食品の安全確保に向けた取組について「食品安全情報」のホームページにまとめ、情報を提供。

(2) 主な情報提供の内容

時 期	媒 体	内 容
3月17日	ホームページ	カナダにおける日本向け牛肉認定施設の認定リストからの除外について
3月17日	ホームページ	輸入食品に対する検査命令の実施について (中国産ケツギョ及び台湾産やいとほか)
3月17日	ホームページ	米国農務省の「日本向け牛肉輸出証明プログラムに関する調査結果・対策報告書」の添付資料の日本語訳(仮訳)の公表について
3月20日	ホームページ	輸入届出における食品衛生法違反事例(速報)(平成18年1月～3月)
3月20日	ホームページ	米国の「日本向け牛肉輸出証明プログラムに関する調査結果・対策報告書」に関する照会事項に対する米国からの回答について

3月20日	ホームページ	カナダにおける日本向け牛肉認定施設の査察について (結果報告)
3月20日	ホームページ	米国の「日本向け牛肉輸出証明プログラムに関する調査結果・対策報告書」に関する照会事項に対する米国からの回答の日本語訳(仮訳)の公表について
3月22日	ホームページ	食品中に残留する農薬等の基準に係るポジティブリスト制度について (English)
3月29日	ホームページ	輸入食品に対する検査命令の実施について (中国産ヨモギ)
3月30日	ホームページ	米国産牛肉輸入問題に関する日米専門家会合の概要
3月31日	ホームページ	厚生省告示370号 (昭和34年12月28日) 食品、添加物等の規格基準(抜粋 残留農薬等関係) (平成18年5月29日施行令を含む)
3月31日	ホームページ	ポジティブリスト制度に係る試験法の標準品の整備状況 (平成18年3月)
4月19日	ホームページ	牛海綿状脳症 (BSE) 確定診断の結果について
4月21日	ホームページ	輸入食品に対する検査命令の実施について (インドネシア産ターメリック及びその加工品)

平成18年度リスクコミュニケーション事業運営計画

平成18年4月
厚生労働省食品安全部

平成18年度においては、次のようなリスクコミュニケーションに関する事業を計画し、実施する予定です。

I 意見交換会

- 厚生労働省は、主体的に実施するものとして次のような意見交換会を適宜開催します。
 - ・ 現地視察（例：検疫所）を含めた意見交換会
 - ・ 輸入食品監視指導計画、ポジティブリスト制度、BSE関連の問題、健康食品等をテーマとした意見交換会
- 内閣府食品安全委員会や農林水産省による意見交換会にも積極的に参加します。
- 地方自治体等の企画する意見交換会等について、要請があった場合には、可能な限り参加するよう努めます。

II ホームページ

- 子供向けサイトの掲載内容の充実を図る、なるべくわかりやすい掲載内容にする、など引き続きホームページの改善を図ります。

III リスクコミュニケーション担当者の養成研修

- 現行の研修事業を活用しつつ、厚生労働省、地方自治体の関係職員を対象として、リスクコミュニケーション技法等の習得を目的とした研修を実施します。

IV 関係行政機関等との連携・消費者団体・事業者団体等との交流の促進

- 関係府省リスクコミュニケーション担当者連絡会議（定例）などを通じ、内閣府食品安全委員会、農林水産省などの関係行政機関と緊密な連携を図りながら、リスクコミュニケーションを実施します。
- 意見交換会の開催などのリスクコミュニケーションの取組について、地方自治体との連携を推進します。
- 要請に応じて消費者団体、事業者団体等が実施する意見交換会や懇談会などにできるだけ積極的に参加するなど、関係団体等との日常的な意思疎通に努めます。

V パブリック・コメント等の実施

- 規制の設定又は改廃に係る意見提出手続（いわゆるパブリック・コメント）や審議会の公開、情報公開などを着実に実施します。

VI その他

- 食品安全委員会における「効果的なリスクコミュニケーションを図るための手法」の審議状況を踏まえつつ、必要な対応を図ってまいります。
- 学校などで利用できるような食品の安全確保に関する資料の作成に取り組めます。

(別紙3)

農林水産省におけるリスクコミュニケーションに関する取組について

最近（平成18年3月17日～平成18年4月24日）の実施状況

1. 意見交換会等の開催状況

(1) 大臣、消費・安全局との意見交換会・懇談会の開催

期間中の開催実績なし。

(2) 個別テーマごとの意見交換会等

米国産牛肉輸入問題について、米国から報告書が提出され、日米専門家会合が開催されたことから、厚生労働省と連携して、4月11日から24日まで全国10箇所において、消費者をはじめとした関係者との意見交換会を開催。

(3) 地方農政局等における意見交換会等の取り組み

地方農政局、地方農政事務所、沖縄総合事務局において、シンポジウムや意見交換会等の主催やパネラーや講師の派遣を実施。

○「平成17年12月末現在での件数」

シンポジウムや意見交換会等の主催 全国計 721回（17年4月～）

（平成15年7月～17年3月 全国計 2,224回）

パネラーや講師の派遣 全国計 3,785回（17年4月～）

（平成15年7月～17年3月 全国計 9,784回）

2. 意見募集の実施状況

募集期間	案件名	応募状況 (通数)
H18.4.17 ～5.16	植物防疫法に基づく港及び飛行場の指定に係る植物防疫法施行規則の一部を改正する省令案についての意見・情報の募集	(募集中)
H18.4.14 ～5.15	遺伝子組換え生物等の第一種使用規程の承認申請案件に対する意見・情報の募集	(募集中)
H18.3.29 ～4.29	動物用医薬品取締規則の一部を改正する省令案についての意見・情報の募集	(募集中)
H18.3.24 ～4.24	動物用医薬品取締規則の一部を改正する省令案についての意見・情報の募集	(募集中)
H18.3.24 ～4.24	動物用医薬品の使用の規則に関する省令の一部を改正する省令案についての意見・情報の募集	(募集中)

H18. 3 .17 ～ 4 .17	遺伝子組換え生物等の第一種使用規程の承認申請案件に対する意見・情報の募集	3 通
-----------------------	--------------------------------------	-----

3．情報の発信

ホームページやメールマガジンを通じた情報提供

- ホームページのサイト「消費」（URL：<http://www.maff.go.jp/syohi.html>）
- 「食品安全エクスプレス」（食品安全委員会、厚生労働省、農林水産省の食品の安全に関する情報を毎日発信中）
（配信数：1 5， 2 2 0通（4月2 4日現在））
（URL：<http://www.maff.go.jp/mail/index.html>）

平成18年度 リスクコミュニケーションに関する主な取組

平成18年4月
農林水産省消費・安全局

I 消費者等との懇談会等の開催

- 食品安全委員会、厚生労働省及び（独）農林水産消費技術センターと連携して、全国各地で各種テーマ（BSE、家畜防疫、GAP、植物検疫など）に関する意見交換会を開催、出席します。（随時）
- 消費者等との定例懇談会を開催します。
- リスクコミュニケーションの効率的運営に資するため、インターネットを活用したアンケート調査「安全・安心モニター調査」を実施します。

II 情報の提供

- 消費者団体等関係者が各地で行う勉強会へ積極的に参加するとともに、特に地方農政局等においては地域のネットワークを活用した情報提供を実施します。（随時）
- 本省、地方農政局及び（独）農林水産消費技術センター等のホームページを通じて、関係者に情報を提供します。（随時）
- メールマガジン「食品安全エクスプレス」により、農林水産省をはじめ、食品安全委員会や厚生労働省の食品の安全と消費者の信頼の確保に関する情報を提供します。（毎日）

III その他

- 関係行政機関との連携
食品安全委員会のリスクコミュニケーション専門調査会や、関係府省リスクコミュニケーション担当者連絡会議などを通じ、内閣府食品安全委員会、厚生労働省などの関係行政機関と緊密な連携を図りながら、リスクコミュニケーションを実施しています。